

生涯学習開講式記念講演会

自分らしく生きるために

作家・高野山真言宗僧侶 家田 荘子 さん



市民の前で四国遍路の体験を語る家田さん

「四国遍路は自分を見つめる修行」と話す家田さんは、空海が修行していたとされる高知県室戸市にある洞窟「御厨人窟」を訪れた際、空海という名の由来になったとされる空と海の景色を見て、「空から見たら

家田さんは、弘法大師・空海ゆかりの八十八か所の寺院を巡拝する四国遍路で、出会った人たちのやりとりや、訪れた場所を感じたことなど、11年前から毎月続けている歩き遍路体験について話しました。

* 四国遍路

また、地元の人たちが巡礼者に食事や宿を提供する風習「お接待」について言及。飲み物の提供や励ましの言葉を受けたという体験談から「人生一人では生きていけない。たくさん人の力を借りているのが人生」と話し、人とのつながりの大切さを訴えていました。

* お接待

人生一人では生きていけない

つながりが大切

5月14日、生涯学習開講式記念講演会が生涯学習センター1で行われ、作家で高野山真言宗僧侶の家田荘子さんらが『自分らしく生きるために』をテーマに、会場を埋め尽くした250人の市民らの前で講演しました。

ご当地グルメに並ぶ来場者たち



特産のたけのこに舌鼓

ご当地の味覚を楽しむ「南海・京阪 うまいもん祭」第2弾、IN 八幡市 THE たけのこが5月4日、石清水八幡宮の頓宮で開催され、多くの来場者でにぎわいました。このイベントは、南海と京阪の鉄道2社が地元と協力して沿線の「うまいもん」をPRし、地域活性化を目指すことが目的。会場では、朝掘りたけのこや特産のたけのこを使った

炊き込みご飯、焼きうどん、ハンバーガーなどが販売され、来場者は八幡の旬のたけのこを使った「うまいもん」をおいしそうにほおばっていました。ほかにも、市内で収穫された新鮮な野菜や和紅茶、八幡名菓の販売、飛行神社の創建者である二宮忠八の生誕150年にちなんだ「紙ひこうき飛ばし大会」が開催されるなど、会場は大いに盛り上がりました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

水難備え万全救助訓練

水難事故が発生しやすいこのからの季節に備え、消防本部が5月17・19・24日の3日間、宇治川御幸橋付近で水難救助訓練を行いました。同訓練は、水難事故発生時に迅速な対応ができるよう、救助技術の向上を目的として毎年行われています。3人1組で2艇の救命ボートに乗り込んだ隊員たちは、はじめに操作訓練を実施。正確な操作で、勢いよくボートを走らせていました。

その後に行われた救助訓練では、人形を水難者に見立て、上流から流されていると想定。隊員たちは、ボートで素早く水難者のもとへ近づき、手際よく引き上げていました。また、陸地から遠方で流されている水難者に向けて救命浮輪を発射する、空気式救命索発射銃の操作訓練も行われ、隊員たちはあらゆる事態に対応すべく訓練に励んでいました。



水難者に見立てた人形を救助する隊員たち

おいしいお茶になってね

園児が茶摘み体験

5月16日、有都こども園の園児26人が、流れ橋付近の茶畑で茶摘み体験をしました。同体験は、園児の保護者で茶農家の吉田さんからの提案で、園長も「はじめてのことなので、子どもたちに経験させてあげたい」という思いから実現しました。

はじめに、吉田さんが園児たちに茶葉の摘み方を分かりやすく説明。今回は新芽から3枚目の茶葉までを摘み取る「三葉摘み」で収穫しました。園児たちは、牛乳パックで作った箱を首から下げ、摘んだ茶葉を箱の中に入れていきます。最初は慣れない手つきで摘み取っていた園児たちも次第に上手になっていき、箱の中は茶葉でいっぱいになりました。この日、園児たちが摘み取った茶葉は約5kg。園児たちは「楽しかった!」と笑みを浮かべ、たくさん取れた茶葉に大満足でした。



茶摘みをする園児たち